

ふる里「なかがわ」の記憶



中川集落センター創設時の偲い出

柳 沼 泰 衛

この施設は昭和56年7月に着工し、翌57年1月に完成しました。その竣工祝賀会が地区民約200人が出席し、盛大に開催され、皆さんが喜びあい祝宴も賑やかでした。

私も建設事業にたずさわった一員として、諸問題の解決にむけ、いろいろ苦労したことが思い出されます。その一端を述べてみます。

当時は中川小学校が無くなり、地区民の交流の場としてのセンター建設が大きな課題で、特に町当局から示された、要件、条件が整わず建設計画が頓挫する機運にありました。

建設予算は国庫助成が必須で、地区再編農構事業に頼るわけで、採択要件が地域農業の担い手育成、生産組織等の研修の場であることとされ、メロン、イチゴ等園芸施設組合をつくること、さらに肉用牛畜産部会の結成とその糞尿処理も含め、堆肥センターの設置が絶対条件と言われ、この堆肥センターの場所が決まらず困っていました。当時の責任者であった柳沼栄さん、菅野広一さんが小生宅に何回も来られ、元農協の組合長斎藤正芳さん等と検討した結果、私の田圃を埋めて日岸田の山合につくる方針としました。しかし、農協からは返事が来ず、期限切れ近い12月末（28日頃）になり栄さん宅で3人であきらめていました。

その夜9時過ぎと思われませんが、突然農協の一條昇さんが、酒をたずさえ訪問され、開口一番幕田部長と相談し、堆肥センターを造ることに同意の旨を申されました。全くうれしい報告でした。皆さんでよかったよかったと4人で深夜まで酒宴となりました。忘れ得ない出来事でした。今は皆さんとは接することができないわけで、感慨ひとしおです。

なおセンター建設は中川工業が約4千万円で落し、地元企業の活性化をもたらした。地区民からは約320万円もの寄付金が寄せられ、備品購入まで地区民で実施しました。中川のまとまりのある行動と云えましょう。

これらのことが、今日までのセンター運営の自治化の推進につながり、他地区にみられない活動取組み姿勢と考えられます。

なお、私は区民会役員として、昭和53年から平成12年まで永きに亘り、事務局6年、副会長12年、会長4年等地域活動の実践ができたことに対し、有意義な人生勉強の一コマを送らせていただいたことに対し、感謝しています。



祝賀会（昭和57年1月）

霊山神社百年記念祭典について

柳 沼 泰 衛

昭和57年10月に行れたこの祭典に当たり、中川奉賛実行委員長をおおせつかり、めったにない経験でもあったので述べてみます。

まず霊山神社で記念式典があり、祈とうをうけ、花屋台を車にのせ中川集落センター広場まで運びました。



手作りの運動会

柳 沼 農 夫 雄

初めて区民会行事に参加したのは、ソフトボール大会でした。川西、川東対抗試合だと記憶しています。その後、部落対抗へと変わっていききました。集落センター、岩代工業、保原高掛田分校跡での試合が思い出されます。その後、各地で運動会が行なわれる様になり、区民会でも運動会へと変貌していききました。子供から、お年寄りまで楽しめるという事で、区民会の行事として定着したのです。私が、30歳半ばを過ぎた頃、体育部長になりました。体育部長最大の行事は運動会です。その頃の区民会では、運動会の備品は揃ってなかったもので、手作りの運動会をやるうと決心しました。8月の盆踊りが終わると、準備に入る事になり、果たして本当に出来るのか、不案が募りました。早速部員会を開催しましたが、始めの頃は飲み会ばかりで、仲々話がまとまらず、ひんしゆくをかってしまったと思います。中川地区大運動会、という大きな字幕と、部落名のプラカードの看板はすでに家で作り終えていました。その話を部員会ですと、ゼッケンや色別のハチマキ、旗、紅白の小旗を作ろうと、話が盛り上がりしました。女性部員は早速縫製にとりかかり、男性部員はプラカード、小旗を取り付ける台、竹などの準備を進めました。プログラムも出来て、10月下旬には全て揃いました。字幕の回りには手作りの花を飾り、ゼッケンには部落名が書かれ、準備完了です。前日は全

奉賛寄付金一覧		
寄付種別	金額	備考
一般寄付金	1,060,000 円	地区民 148 口
奉賛金額		
特殊お祝金	518,600 円	中川工業 東京三共 菅野電気
神社還付金	330,000 円	
計	1,908,600 円	

祭典修了まで、奉賛実行委員の多くの人々の協力のほか、一般地区民の方々から浄財寄付もいただき、感謝とともに、ほっとしたことが実感でした。

ちなみに、このときの奉賛金合計額は別表のとおりですが、約190万8千円でした。これから屋台作製費、提灯、紅白幕等の備品に使われ、その他諸経費差引残額は中川区民会に寄付され、地区活動に役立ったことです。



子供みこし運宮 集落センター前（昭和57年10月）



中川集落センター前広場に集合（昭和57年10月）



当時の観客席（昭和60年）

員で会場を作りました。きれいに均されたグラウンドに白線を引き、その白線の上には緑色の杉葉を差しました。部落ごとの応援席を作り、頭上には万国旗を掲げ、センター2階には、中川地区大運動会の字幕を付けました。晴天に恵まれた当日は、体育館が中心となり、一丸となった手作りの運動会は大成しました。終了後の部員は、自信に満ち、生き生きとした笑顔だったことを鮮やかに覚えています。30年過ぎた今でも忘れられない思い出になっています。



得点表 部落対抗 (昭和60年)



昭和60年当時のチビッコ太鼓 運動会に演奏

青空市場

柳 沼 莊 一

中川小学校が閉校となり区民会では地区を活性化しなければと思っていました。そこで体育館で「地区運動会」「部落対抗ソフト大会」「社会部で「盆踊り大会」「青空市場」をする事になりました。青空市場の責任者となりましたが、なにしろ初めての事で何をすれば良いのか見当がつかません。若かったから出来たと思います。どの程度お客さんが来て



区民会に携わったこと

菅 野 ス テ

私は縁あって昭和41年2月中川に嫁いできました。そして中川小学校の用務職にお使いいただき、区民会に少々携わってきたことをつづてみます。

当時は、校舎の真向かいに二階建ての建物が区民館としてありました。区民会の事務局は小学校におかれてあり庶務は教頭先生が担当されておりました。総会の時期になると会計監査役の故佐藤健司さんが鼻の上にチョンとメガネを掛けて職員室に入ってきたのが印象的でした。

それから、42年頃だったと思いますが、区民館が傷んでいるので修理することになったので便所の汲み取りを白根校長先生に命ぜられたことです。「なんで私が」とつぶやきながらも取ったものです。

春が巡り来て農作業が始まると季節保育所が開設され30人近い幼児の賑わい、選挙があると投票に来る人々の出入り、各種団体の会合などで区民館は活気がありました。しかし、児童の減少により小学校統合の要請があり、区民会長を軸として数回の会議を重ね小学校は統合されました。

その折の一項目として区民が一丸となるような行事として球技大会が始まったのです。

その後、11月3日は区民の日と定め幼児から老人まで参加できる大運動会になりました。部落ごとの点数獲得合戦となり、昼休みの余興の出し物も点数に加算されるようになりました。西部部落の出し物で「オバQ音頭踊り」という出し物を行ったことがあります。腰から上に大きな袋をかぶり「キュッキューのキュウ」とお尻を振ると会場の子供たちが一斉に寄ってきたことで感動したことが思い出されます。運動会の



昼休み時の余興 (昭和63年) 運動会 西部部落のダシモノ



飯淵部落のダシモノ (昭和63年)

ファイナレは部落対抗リレーです、自分の部落に体を乗り出しての応援を思い出しています。
すこし、亡夫(誠)について触れさせていただきます。
一、体育部長の時、母親に赤飯を炊いてもらって招待客に接待したこと。
二、管理部長の時、防火管理者として保原警察署に2日間受講したこと。
三、太鼓部長の時、子供太鼓育成のため区民会に太鼓部を設けてもらったこと。
生前中の「徳」を積み上げたおこないだったと...
私も体育部、管理部の役目をさせていただきました。中川区民会ならではの組織体制の良さと、御礼申し上げる次第です。

くれるのか、どのくらい売れるのか見当が付きません。最初に福島市場を見学する事から始めました。その当時地産地消などの言葉は無かったが地元の「白菜」を齋藤金吾さん「ゴボウ」を斎藤勝三郎さん「ユズ」を大友守男さんから出荷して頂きました。
当日は校庭に鮮魚コーナー、果物コーナー、野菜コーナー等と分けて始めました。「ミカン」を買う人「ゴボウ」「ニンジン」を買う人「イカ」「サシム」を買ってくれる人、皆さんそれぞれの笑顔で買い物をしてくれた様に思います。青空市場のような催しは他の地区では無かったので、大石、泉原、石戸、山戸田の部落から見学のための来場者があったと思われました。
今でも当時の事が思い浮かべられます。
多少でも地区の活性化が出来たのかと思っています。
私の人生訓
一、一人では世の中生きられない
一、人には勿論 すべての物に感謝する
残りの人生を感謝の気持ちで過ごしたい



青空市場 (平成2年11月25日)



青空市場 (昭和62年頃)

平成25年12月 78歳



太鼓との出会い人との出会い

松本幸治

私と太鼓との出会いは、今から31年前、25歳の時でした。「霊山神社の遷宮に向けて、太鼓の練習をするので参加してみないか」と末永一郎さんに誘われたのがきっかけでした。私も太鼓には興味があり機会があればやってみようと思っていたので迷わず参加することにしました。この時から私と太鼓のつきあいが始まりました。

その後、霊山町の地域おこし事業の一環として、太鼓まつりが開催されることになり、当時中川からは、羽山神社と天神社の二つの保存会が、太鼓まつりに参加していましたが、数年後には、太鼓の伝承と打ち手を養成するために、区民会で太鼓を購入することになりました。この時から本格的に子どもたちとかかわるようになり新たな出会いが始まったのでした。太鼓を教えることはとてもむずかしく諸先輩の指導者と一緒に、とにかく「楽しくやろう」をモットーに多くの子供たちと出会うことができました。今では、当時小学生として練習に参加していた子供たちの中には自分の子供を連れて参加するようになり時代の流れを感じるとともに長く伝えていく太鼓、これが伝承太鼓の原点ではないかと思えました。私も子供たちと関わりをもつ中で一緒に成長させてもらったことを強く感じています。太鼓まつりも数を重ね今年で30回目を迎えることになりました。今思えばよくここまで続いてきたと驚くと同時に長く続けることの難しさも大切に感じました。

これまで太鼓を通して色々な人との出会いがあり、そのすべてが私の大切な「宝物」となっています。これからも微力ながら何らかの形で太鼓と関わっていければと思っています。



50年の歩みを顧みて

大友京子

昭和39年9月27日中川に移り住んで50年、長男はこの時まだ5か月でした。小学校は新居のすぐ目の前、区民館は小学校の東側で農協の集荷所と一緒に並び、その片隅に今にも倒れそうな建物がありました。

ここで年2回の季節保育所が開設されておりました。校庭には遊具は何もありませんでした、亡夫（年男）は見かねて校庭の隅にジャングルジムを造りました。小学生と一緒に喜んで遊んでいたことが思い出されます。区民大運動会の時も楽しく子供たちが遊んでいました。年々子供が減少して昭和49年に、中川小学校は掛田小学校に統合されました。

昭和57年に中川集落センターが新築されました（中川工業が請け負いました）また区民会に相応したシンボルマークはないものかとデザインを募集その結果、大友次男さんのものが区民会のシンボルマークに採用されました。この年落成式が盛大に開催されました。新しいセンターでの季節保育所も何年か開設されましたが、今は保育所もなく、振り返ってみれば、楽しいこと、悲しいことたくさんあった50年でした。

現在も中川集落センターは、区民の活動や集いの場所として利用させていただいております。今後も区民の発展のためますます活動することを願っております。



ジャングルジム(昭和59年撮影)
(部落対抗運動会)



季節保育所 集落センター
(昭和60年頃)



霊山太鼓まつり 霊山こどもの村 平成18年頃



区民会の行事に参加して

中学一年生 牛坂
菅野真梨子

私は、毎年中川区民会の夏祭りに参加しています。今年も楽しかったです。

今年の夏祭りは、灯ろう流し・金魚すくい・おかしつり・フラダンス・ほんおどり・花火などたくさんイベントがありました。見てももちろんやるのも楽しいです。友達とたくさん話しながら、金魚すくいやおかしつりをしました。灯ろう流しでは、暗いところで光る灯ろうがきれいだと思います。ほんおどりは、太鼓の音がひびいて演奏がすごかったです。私は、ふり付けをおどるのは苦手なので周りの人が上手なのがすごいいました。花火大会に行かなくても家から見える花火は毎年とても楽しみにしています。少しの間でしたが、とてもとてもきれいでした。

育成会で行ったラビスパ裏はんだいは、プールに入ったり、ウォータースライダーに乗ったり、ご飯を食べたりしました。ウォータースライダーは、早くてとにかくおもしろいので二人で乗ったりしてとても盛り上がりしました。小さい子たちと遊んだり、ふつうのプールや流れるプールではおにごっこをしました。はるちゃんにくれた、リボンがついたDonald Duckの人形は気に入っています。バスの中も楽しく、良い思い出になりました。



区民会に参加して

中学一年生 飯田
氏家未夢

私が区民会に参加して最も楽しかった行事はお盆に行われる灯ろう流しの行事です。金魚すくいや焼き鳥、川を流れてゆく灯ろう、盆おどり、花火などむすような暑さを忘れるほど楽しかったです。去年の灯ろう流しでは金魚をいただいて帰りましたが、家の水そうで今でも元気に大きくなって泳いでいます。

もう一つ楽しかった行事があります。クリスマス会です。毎年、クリスマス近くになると行われるこの行事の楽しみはケーキのデコレーションとビンゴ大会です。ケーキのスポンジにどれだけきれいにホイップクリームをぬれるか、とか、苺やパイナップル、黄桃はどこにならべて、銀のアザランは、など考える楽しみがありました。もちろん、食べる楽しみも。そして、ビンゴ大会では番号が合わないじれったさと、「ああっ！あの景品が取られるかも！」とスリルがありました。

私は六年生なのでもう今年中学校へ行くようになってしまいました。ということは、あまり区民会に参加できなくなってしまうということです。ですが、新一年生が入り行事に参加できるようにもなります。なので新一年生達に目いっぱい楽しんでもらいたいと思います。

中川の 世話人たち 歴代会長



3代
丹治伝兵衛
昭和52年5月～
昭和53年3月
(1期1年)



2代
齋藤林治
昭和41年5月～
昭和52年4月
(5期11年)



初代
齋藤 栄
昭和39年9月～
昭和41年4月
(1期2年)



7代
菅野 広一
昭和61年2月～
昭和63年1月
(1期2年)



6代
齋藤正芳
昭和59年2月～
昭和61年1月
(1期2年)



5代
柳 沼 栄
昭和55年4月～
昭和59年1月
(2期4年)



4代
齋藤吉昭
昭和53年4月～
昭和55年3月
(1期2年)



11代
齋藤行應
平成12年1月～
平成13年12月
(1期2年)



10代
柳 沼 泰衛
平成8年2月～
平成12年1月
(2期4年)



9代
齋藤七郎
平成4年～
平成8年1月
(2期4年)



8代
富田光雄
昭和63年2月～
平成4年1月
(2期4年)



15代
菅野保雄
平成24年1月～



14代
齋藤 博
平成20年1月～
平成23年12月
(2期4年)



13代
菅野 勉
平成16年1月～
平成19年12月
(2期4年)



12代
柳 沼 定男
平成14年1月～
平成15年12月
(1期2年)

中川区民会・歴代役員名

						"副部長	生活改善部長	"副部長	産業部長		"副部長	社会部長	" "	" "	監事	副會計	會計	事務局員	"次長	事務局局長	副會長	會長	年度	代	回数
													菅野敏	菅野一郎	大友伊男		齋藤力			齋藤衛	柳沼治郎	齋藤栄	S39.9 ＼ 41.4	初代	1・2
						柳沼仁三郎	齋藤力	齋藤賢一郎	齋藤吉昭		大友伊男	菅野敏	大友守男	富田光雄	佐藤健司		高野保夫			齋藤衛	柳沼千代治	齋藤林治	41.5 ＼ 52.4	2代	3 ／ 13

回数	年代	年 度	会 長	副 会 長	事務 局長	"次 長	事務 局員	会 計	副 計	監 事	"	"	社 会 部 長	副 部 長	体 育 部 長	副 部 長	管 理 部 長	副 部 長	副 部 長	太 鼓 部 長	副 部 長	副 部 長
14	3代	52.5 53.3	丹治伝兵衛	齋藤吉昭	柳沼栄	柳沼泰衛	菅野保雄	菅野太三		富田光雄	八島幸一郎	菅野勉	柳沼莊一	末永昭雄	齋藤賢一郎				大友守男			
15・16	4代	53.4 55.3	齋藤吉昭	柳沼栄	柳沼泰衛	大友守男	菅野保雄	菅野広一	齋藤行應	八島幸一郎	齋藤賢一郎	菅野勉	末永昭雄	齋藤芳宏	柳沼ケイ子	菅野誠	齋藤文二	末永アキ				
17・18	5代	55.4 57.1	柳沼栄	寺島忠男	柳沼泰衛	齋藤賢一郎	菅野博和	齋藤行應	柳沼定男	菅野広一	八島幸一郎	菅野保清	菅野勉	菅野久信	末永カツ子	大友弥	寺島正幸	氏家昭子				
19・20		57.7 59.1	柳沼栄	寺島忠男	齋藤賢一郎	菅野誠	菅野博和	柳沼定男	大友守男	柳沼泰衛	齋藤行應	菅野勉	齋藤博	末永勝美	菅野和子	齋藤芳宏	柳沼農夫雄	末永ツネ	大友弥	丹治勝男		
21・22	6代	59.2 61.1	齋藤正芳	菅野広一	柳沼泰衛	寺島正幸	菅野博和	大友守男	菅野勉	齋藤行應	柳沼定男	齋藤文二	大友伊佐男	大友京子	柳沼農夫雄	阿久津正雄	佐藤幸子	菅野誠	阿久津和夫	齋藤ミヤ子		
23・24	7代	61.2 63.1	菅野広一	柳沼泰衛	菅野保雄	阿久津正雄	富田和夫	柳沼藤雄	佐藤健治郎	大友守男	柳沼莊一	末永昭雄	菅野久信	齋藤吉行	柳沼ケン子	末永敏	阿久津福雄	菅野ステ	大友俊一	齋藤昭寿	佐藤トミ子	
25・26	8代	63.2 H2.1	富田光雄	柳沼泰衛	菅野勉	佐藤健治郎	柳沼敏	阿久津正雄	末永敏	齋藤賢一郎	柳沼藤雄	菅野久信	佐藤俊一	菅野敏宏	柳沼キイ子	安藤実	齋藤忠則	菅野栄子	齋藤昭寿	寺島正幸	齋藤意代	
27・28		2.2 4.1	富田光雄	柳沼泰衛	菅野勉	佐藤健治郎	柳沼敏	阿久津正雄	末永敏	齋藤賢一郎	柳沼藤雄	菅野久信	末永勝美	菅野敏宏	柳沼愛子	齋藤忠則	大友茂信	氏家昭子	富所剛	齋藤吉信	丹治ムツ	
29・30	9代	4.2 6.1	齋藤七郎	柳沼泰衛	大友守男	佐藤健治郎	柳沼仁克	齋藤忠則	菅野英一	菅野勉	菅野誠	阿久津正雄	丹治繁幸	菅野幸四郎	柳沼ミヨ子	阿久津和夫	富田光幸	氏家昭子	菅野利雄	柳沼良一	末永良子	

回数	年代	年 度	会 長	副 会 長	事務 局 長	“ 次 長	事務局 員	計	副 計	監 事	“	“	社 会 部 長	“ 副 部 長	“ 副 部 長	体 育 部 長	“ 副 部 長	管 理 部 長	“ 副 部 長	太 鼓 部 長	“ 副 部 長	女 性 部 長	鍵 管 理 者
31・32	9代	6.2 8.1	齋藤七郎	柳沼泰衛	大友守男	安藤実	柳沼仁克	小野克夫	柳沼敏	菅野誠	佐藤健治郎	齋藤忠則	齋藤栄治	齋藤勝之	菅野教子	菅野勇	菅野敏宏	大友一郎	末永加代子	末永一郎	阿久津好三郎		
33・34	10代	8.2 10.1	柳沼泰衛	齋藤行應	齋藤芳宏	安藤実	柳沼仁克	末永敏	富田光幸	小野克夫	阿久津五郎	富所剛	末永弘一	菅野保雄	菅野ヨシ	菅野秀一	柳沼良一	菅野宏	齋藤富美子	菅野誠	丹治繁幸		
35・36		10.2 12.1	柳沼泰衛	齋藤行應	齋藤芳宏	安藤実	大友範行	柳沼仁克	菅野政光	菅野保雄	菅野久信	富所剛	齋藤吉行	丹治義正	大友茂信	富田光幸	菅野洋子	菅野誠	阿久津正雄				
37・38	11代	12.1 13.12	齋藤行應	柳沼定男	佐藤健治郎	安藤実	末永悦男	柳沼仁克	齋藤正吾	菅野誠	菅野久信	富所剛	菅野英一	菅野たか子	菅野保雄	大友京子	大友一郎	阿久津正雄	菅野幸四郎	菅野幸四郎	柳沼幸四郎		柳沼莊一
39・40	12代	14.1 15.12	柳沼定男	菅野勉	佐藤健治郎	柳沼敏	末永悦男	柳沼仁克	齋藤正吾	菅野誠	菅野保雄	富所剛	菅野宏	柳沼秀樹	丹治仁一郎	八島幸男	菅野ステ	齋藤孝志	菅野幸四郎	齋藤福応			柳沼莊一
41・42	13代	16.1 17.12	菅野勉	齋藤博	佐藤健治郎	柳沼敏	末永悦男	柳沼仁克	齋藤正吾	菅野誠	菅野保雄	富所剛	丹治義正	菅野守	齋藤清市	大友健一	齋藤孝志	齋藤成季	齋藤吉信	齋藤福応			菅野ステ
43・44		18.1 19.12	菅野勉	齋藤博	佐藤健治郎	柳沼敏	末永悦男	柳沼仁克	齋藤正吾	菅野誠	菅野保雄	富所剛	菅野守	菅野英一	安藤実	大友範行	齋藤幹男	柳沼よし子	阿久津福雄	菅野勇			菅野ステ
45・46	14代	20.1 21.12	齋藤博	菅野保雄	安藤実	柳沼敏	末永悦男	富田光幸	阿久津芳男	佐藤健治郎	富所剛	柳沼仁克	菅野英一	阿久津好光	大友茂信	八島幸男	富田和夫	大友康	柳沼幸男	柳沼幸男			柳沼チイ子
47・48		22.1 23.12	齋藤博	菅野保雄	安藤実	柳沼敏	末永悦男	富田光幸	阿久津芳男	佐藤健治郎	富所剛	柳沼仁克	阿久津好光	齋藤成季	八島幸男	大友康	菅野ステ	菅野幸男	齋藤美和	氏家昭子	末永良子		
49・50	15代	24.1 25.12	菅野保雄	佐藤健治郎	安藤実	柳沼敏	末永悦男	菅野秀一	柳沼秀樹	菅野敏宏	大友伊佐男	柳沼仁克	末永敏	吉田友明	柳沼竹千代	永井直幸	寺島善行	菅野幸四郎	齋藤美和	氏家昭子	末永良子		柳沼良一

鍵 管 理 者	〃 副 部 長	女 性 部 長	〃 副 部 長	太 鼓 部 長		〃 副 部 長	管 理 部 長	〃	〃	監 事	〃	〃	〃	〃	〃	幹 事	副 會 計	會 計	〃 次 長	事 務 局 長	副 會 長	會 長	年 度	代	規 約 改 正
柳沼良一	富田ユリ子	末永良子	齋藤美和	齋藤福応		菅野ステ	末永悦男	大友伊佐男	宮所剛	柳沼農夫雄	末永敏	二階堂法子	齋藤清市	氏家昭子	柳沼仁克	菅野勇	菅野政光	柳沼敏	菅野秀一	安藤実	佐藤健治郎	菅野保雄	26 5	16 代	51 ・ 52